

町の人口

昭和43年11月1日現在
 住民台帳人口36,786人

内	男	18,082人
		女
世帯数		10,814戸
(増)		395人
10月中		(減) 246人



1968.11.20.

No. 87

発行所 福生町役場
 発行兼 企画調査室
 編集人
 電話51-1511・内線204



のびゆく若もの

(写真は第一中学校体育祭)

ピストルが鳴った。大地をけて、力強く躍動するこの足、この腕
目的に向って進む人間の美しきでいっぱいだ。

若ものよ、進め、のびろ、強く大きく、たくましく、
輝しき未来に向って……………。

季節の話題

ご用心
たばこの火

十一月二十六日から火災予防運動が始まりますが、いよいよ火災シーズンがやってきました。さて、火事の原因を調べてみる

とたばこが昭和二十九年以来その王座を失っています。

その原因は、①たばこの火は八百度という高温で、危険性がある。②たばこが火災にまで発展するのに時間がかかるため、油断しやすい。③たばこが時と所を問わず、よく吸われ、そのまま捨てられるなどがあげられます。

東京消防庁で、都内の家庭内でおこった火災の原因を過去七年間について調査してみると、①酔って寝たばこによるもの、四五七件、②就寝時の寝たばこ、四一四件、③在宅中のたばこの火の不始末、三二二件、④出勤、外出後三七五件、⑤起床時の寝たばこ、二一七件、⑥かくれたばこ、一三七件という数字がでています。

奥さんがご主人に内しよで吸うたばこ、高校生のかくれたばこが意外に多いということです。このほか、飲食店での残りたばこなどもかなりあります。

このたばこの不始末による火事をなくすためには、各人がそれぞれ注意する以外に手はありませんが、灰皿には必ず水をいれておくようにしましょう。

また、酔った人や身体の不自由な人、老人のたばこも危険ですから、まわりの人は十分注意してあげましょう。



一般会計補正予算や

敬老金支給条例きまる

水道料金に対する異議申立は棄却

第三回定例議会

昭和四十三年度第三回定例議会は、十月二十三日から十一月二日までの開催されました。

会議は、松本平九郎議員外五名の一般質問からはじまり、昭和四十三年度一般会計補正予算第一号など議案十五件、請願一件など十八件について慎重な審議をおこなひ、「秋多町との境界変更に関する請願」は総務委員会に付託し、他は原案どおり可決しました。

また、加美平、熊川両地区から出されていた今年の五月と六月分の水道料金納額通知に対する異議申立に関しては、町長の諮問どおり、棄却するという答申がありました。

主な内容はつぎのとおりです。なお、昭和四十三年度の決算については、四ページをのぞくください。

五五三二万四千円を追加

一般会計補正予算

学校や道路などをつくるための一般会計予算に五五三二万四千円を追加しました。このため、一般会計総額は七億七、九四万、千円となりました。追加した主な内容はつぎのとおりです。

新たに二つの交付金

収入

新しく自動車取得税交付金と交通安全対策特別交付金が町に交付されます。

自動車取得税交付金は今年の七月一日からできたもので、自動車が多くなった現在、市町村の道路を維

持するため、新しく自動車を購入する人に対し、都道府県が課税し市町村に交付するものです。自動車取得税交付金は一、二六〇万円、交通安全対策特別交付金は、九六万円です。

また、国から交付される地方交付税も、はじめ予定したよりも、四、八万円増額されました。

このほか大きなものは町債がはじめ予定したよりも、二、八〇万円増額されましたが、これは、福祉緑地整備事業に、一、八〇万円消防車購入のため、一、〇〇万円多

国から借り入れられることになったためです。

道路改良工事費が中心

支出

補正予算でくまれた主な支出はつぎのとおりです。

- ▽交通安全対策費(信号機設置工事費など) 六〇万円
- ▽狭小火葬場入口道路工事負担金 五七万円
- ▽敬老金、福寿会補助金 五三万円
- ▽日職ワクラン代 五七万円
- ▽商工振興費 五〇万円
- ▽般道改良工事 一、八三万円
- ▽消防団詰所工事 八九万円
- ▽夜間常備消防手当 八八万円
- ▽三小ブルー解体整地工事 三、四〇万円

水道事業会計補正予算

第一号

収益的収支で、水道料金と人件費の増減補正があり、収入が六二〇万円、支出は約八五六万円ふえました。収入総額は、一億、一五〇四万六千円、支出総額は、一億、〇六八万四千円となりました。資本的収支は、収入はほぼ当初予算どおり、支出は内部面で補正され、収入総額は八、三四一万円、支出は、一億四六四万円になりました。

福生町敬老金条例きまる

すでに今年から、九月十五日に満七十五歳以上のみなさんに福生町からも敬老金を贈呈しましたが、敬老金支給条例がきまりました。

福生町職員定数条例を一部改正

一部改正

消防本部が本来の活動を行なうため、消防吏員十名を二十六人に改めました。

第五小学校校防音併行工事

決る

つぎのとおり、第五小学校防音併行工事がきまりました。規模、鉄筋コンクリート四階契約金額、二〇四六方八千円工期、昭和43年10月24日から昭和44年3月31日

契約の相手、株式会社浅沼組
昭和四十三年五月分、六月分水道料金納額通知に対する異議申立を棄却

教育長に町田倍二氏

教育委員に田村政一氏

第七回臨時議会

空席であった教育長に、前総務課長町田倍二氏(福生町福生九〇八、43歳)また教育委員に田村政一氏(福生町大字福生二、〇五58歳)がままりました。

横田飛行場周辺排水路工事業

(その四工事)
契約金額、一、三六八万円
契約、田村建設工業株式会社
工期はいずれも来年三月まで

加美平、熊川両地区は、今年の五月、六月分の水道料金納額通知に対し、これを不当として異議を申立てていたが、この問題について町長が議会に意見を伺ったところ、この申立は受けいれないとの答申があった。

十一月十日に功労者を表彰

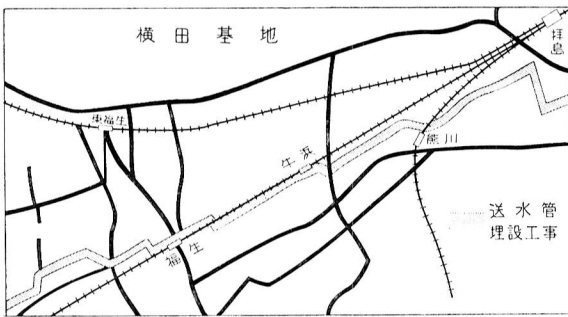
福生町表彰条例にもとずき、つぎの方々の表彰を決定、十一月十日に表彰されました。(敬称略)
▽秋島石材工業株式会社(荻村町川崎島)▽アサノホール株式会社(福生町福生三、三三三)▽福生コンクリート工業株式会社(福生町福生三、三五六)
……福生字河原の町道を工事費四八〇万円を補装
▽萩原商事株式会社
上水道事業開発のため、送水用ポンプ、送水用配電両など寄附
▽鈴木藤次郎
第三中学校へ校門の扉を寄附

三多摩給水事業にご協力を

十一月末から工事着手

東京都では、このたび昭和四十五年を目標に、利根川の水系需要計画の一環として、三多摩地区への分水計画を行なうことになりました。

これは、人口の急増や工場等の進出により、水不足をきたしている三多摩地区の市町村へ多摩川の水を送ろうとするもので、羽村町



の小作に一日二十八万トン(都が行なう三多摩地区給水量の約四割)の給水能力をもつ浄水場を新設し、八王子、立川、日野、秋多、青梅の各市と、福生、羽村、福生、瑞穂、村山、大和の各町にわたって給水しようとするものです。

福生町としても、将来の水需要の確保の必要性からこの事業に全面的に協力することを決定しています。羽村町から福生町

を通り、昭島、立川、八王子方面へ給水するための給水管工事を、上図のとおりですが、福生町を横ざり、十一月末から来年六月まで、東京都により行なわれます。工事は、二部都道を含むほとんどが町道で、約半年にわたり沿道のみなさんや、交通止などにより大変ご迷惑をおかけすることと思いますが、みなさんのご理解あるご協力をお願いします。

町といたしましても、東京都に対し、公害を最小限におさえることを強く要望し、みなさんのご不便をより少なくするよう努力いたします。なお、工事施行については、実施期日、終了時期など

東京都も地元のみなさんと十分協議して極力ご要望にそうよう心がけていくことを確約しておりますので、重ねてみなさんのご協力をお願いします。

福生町版

都民便利帳が完成

12月初旬に全世帯に配付

このたび、福生町版都民便利帳が完成し、町内の全世帯に配付することになりました。

この便利帳は、みなさんのお手元において、折にふれてご覧いただき、また必要のつどお役にたっていたらごとうと、町と東京都が共同して編集発行したものです。大きさはB六版一七八ページで、このうち四分の三の九六ページを都と区市町村が共同で編集し、残りの三二ページを福生町が独自で編集したものです。

内容は、窓口案内や保健衛生、町の施設案内などみなさんが日常生活で知っておくと便利なることをたくさん盛り込んでみました。お茶の間のテレビの脇にいつでも置いて、大いに活用してください。

町内各地で大運動会

この秋は町内各地で町会ごとの運動会が盛んにおこなわれました。ここにそのあらましを紹介いたします。

加美平団地 今年第一回、10月20日第三中学校で行なった。保健体育部長さんが中心となり、日頃室内にとじこもっている人たちがみんな一日楽しく過した団地を明るくしようとするもので、当日はほとんど全員が参加し楽しんで、運営費は町会費でほとんど賞品にあてられた。

本B町会 今年で2回目、11月3日加美平公園で行なった。PTA、青少年協が中心で、青少年の健全育成を目的に親子で楽しかった。約五〇〇名が参加、予算は6万5千円

牛2町会 今年で四回目、10月13日、第三小学校で行なった。青少協、PTAが中心に、参加者ほとんどから老人まで五〇〇名、予算は5万円が賞品にあてた。

熊川団地

今年で四回目、10月20日、団地内の公園で行なう。入居五周年を記念して、フレイヤストームを開いて前夜祭も協行われ、町会長、PTA、青少協が中心となって行なった。予算は6万円

おまわりさんありがとう

志茂一町会のごもたちが感謝の作文を送る

福生町から秋多町に通ずる五日市街道沿いは、最近交通量がきわめて激しく、ごもたちの通学は大変危険です。こんな中で矢口実巡査(福生町四三四)は雨の日も風の日も自分の休みにあらずして、毎朝児童の交通整理に励んで、志茂一町会では、町会長さんをはじめ、交通安全協会の人たちも、矢口さんに指導されて協力してはいますが、このたび矢口さんの日頃の積極的なご厚意に対し、PTAのお母さんが花束を送り、ごもたちも、おまわりさんありがとう、という作文を送りました。



矢口さん は「わたしはあたりまえのことをしているだけですよ」といっており、おまわりさんおまわりさんおまわりさんごもたちも私たちの心あたったまるな話題です。(みなさんの周囲のかかれた善行や明るい話題を広報係までお知らせください。)

昭和42年度歳入歳出割合

歳 入		歳 出	
町 税	36.8%	教 育 費	42.7%
町 借	19.3%	土 木 費	20.2%
国庫支出金	13.0%	総 務 費	13.9%
地方交付税	10.6%	養 老 費	9.1%
国庫支出金	5.3%	生 産 費	6.7%
地方交付税	3.9%	民 生 費	7.4%
その他	7%		

税金はこう使われました

昭和42年度決算

歳出総額は 一般特別 7億1,936万円
2億6,715万円

昭和42年度の一般会計決算は、歳入七億六千五百一十七万八千八百八十四円、歳出七億九千九百六十八万八千円を差引き四億七千五百六十四万四千円が黒字となりました。これは、昭和43年度に繰越され、各種事業の貴重な財源となるわけです。

歳入は前年度にくらべ10・5%伸びましたが、これは国庫支出金をのぞき全体に増えたためです。特に町税は前年比26%伸びました。内容は町民税は33%、町たばこ消費税は40%、都市計画税が33%伸びています。また地方交付税は32%の伸び率を示しています。

また、昭和41年度で地財法が解除になり、多額の繰越金があったのも歳入増の原因です。

町税は二六%のびる 歳出は教育費がトップ

——一般会計決算——

国から借りのお金(町債)も前年の約倍になっています。

国庫支出金は大巾に減少しましたが、これは、小中学校の防音建設など防衛庁関係の事業が減ったためです。

町の総収入のうち、福生町独自で得られるお金は全体の47・6%で、52・4%の半分以上は国や都から交付されるお金や借入金によってまかなわれています。

歳出も前年度にくらべ8・8%伸びています。

最も大きいのは、教育費で、これは四小の防音校舎や一小、二中の体育館また二中の土地と私費負担など教育問題に充実につとめ、前年とほぼ同じです。

民生費、商工費、総務費なども前年比大巾に増額しており、民生費は34%増になっています。これは若葉保育園と第二小の学童保育に対する援助や国保会計や公益質屋会計に対して繰出したためです。また商工費も66%増となっていますが、これは、小口事業資金貸付額などが増額されたためです。教育費、土木費、衛生、住民福祉につながる民生費、衛生

費なども前年比して大巾に増額になったことは、町がすべての面で、着実な歩みをしたことを示しています。

また大きな事業が町債や国庫支出金によってまかなわれましたが、これは、現在の市町村の財政事情をよくあらわしており、社会経済のすざましい発展により、道路、教育、生活環境施設などに対する財政需要や、また、人件費の増額など、どうしても支出しなくてはならないお金が増え、町が健全な財政を維持しながら、一定の行政水準をもち住民福祉の増進をはかるために、国庫から借り入れた地方債により建設事業の伸長を図っているの

昭和42年度一般会計決算表

科 目	入			科 目	出		
	予 算 額	取 入 済 額	取 入 率 %		予 算 額	支 出 額	支 出 率 %
町 税	280,039,000	282,063,557	100.7	議 費	13,903,000	13,696,050	98.5
町有提供施設等所在 町町村助成交付金	31,175,000	31,175,000	100.	総 務 費	102,128,000	99,791,239	97.7
臨時地方財政交付金	409,000	409,000	100.	民 生 費	50,578,000	48,207,549	95.3
地 方 交 付 税	50,990,000	50,990,000	100.	民 生 費	65,858,000	65,336,674	97.7
分担金及び負担料	4,323,000	4,325,390	100.1	農 林 水 産 業 費	7,116,000	6,620,326	93.0
使用料及び手数料	16,694,000	17,891,437	107.2	商 工 費	5,502,000	5,110,329	95.4
国 庫 支 出 金	99,509,000	99,896,160	100.4	土 木 費	149,374,340	145,184,160	97.2
国 庫 支 出 金	39,399,000	40,296,917	102.3	防 育 費	15,309,000	14,009,393	91.5
都 道 府 支 出 金	704,000	1,851,995	263.1	公 子 債 費	311,704,000	306,984,503	98.5
繰 入 金	4,000,000	4,000,000	100.	前年度繰上充用金	13,856,000	11,420,166	82.4
繰 越 金	30,117,000	30,117,909	100.		21,932,666	0	0
繰 上 金	25,902,000	25,499,723	98.4		0	0	0
債 権	145,000,000	148,000,000	100.				
合 計	761,261,000	766,517,088	100.7	合 計	761,261,000	719,360,688	94.5

お金をどう使ったか

(100万円以上の主なもの)

- ▷交通安全施設工事(ガードレール、安全釘) 159万円
- ▷保育園児、学童保育援助費 129万円
- ▷衛生伝染病組合負担金 145万円
- ▷ゴミ処理委託料 133万円
- ▷東口開発測量委託料 400万円
- ▷都市計画下水道基本計画委託料 291万円
- ▷2.2.2街路用地購入 234万円
- ▷2.2.2街路移転補償料 929万円
- ▷3町都市下水路分担金 103万円
- ▷福生緑地工事 294万円
- ▷町民プール 1565万円
- ▷水泳場水源用地買取費 100万円
- ▷横田飛行場周辺排水路事業 3993万円
- ▷町道395号線舗装 225万円
- ▷ " 13号、85号線舗装 150万円
- ▷ " 191号線舗装 905万円
- ▷ " 169号線舗装 112万円
- ▷ " 11号、13号線舗装 212万円
- ▷ " 4号線改修工事 194万円
- ▷ " 85号線排水工事 200万円
- ▷消防自動車 228万円
- ▷消火栓設置委託料 218万円
- ▷防火水槽工事 160万円
- ▷警報サイレン設置 147万円
- ▷第一小学校体育館 1860万円
- ▷第二中学校体育館 2256万円
- ▷第四小学校建設費 4069万円
- ▷第二中学校用地買取 7281万円
- ▷第二中学校体育館改修 194万円
- ▷保健学童扶助費 128万円
- ▷中学校給食費負担解消費 106万円
- ▷小学校 " 149万円
- ▷西多摩衛生組合負担金 3713万円
- ▷ゴミ処理委託料 1332万円

使用料は、町の施設を利用した人から徴収するものとして、
 分担金は町が行う特定の事業の経費にあてられるため、その事業により利益を受ける人から徴収するものです。保育園の保育料があります。負担金は、町が特定の事業を行なうとき、その事業に関係ある人から徴収するものとして、
 使用料は、町の施設を利用した人から徴収するものとして、

繰越金 昭和41年度会計から繰越されたもの
 繰入金 昭41年度会計から繰越されたもの
 貸付金利息、国民年金印紙売払代金
 国庫支出金 国が町に対して補助

町債 町が事業をおこなう場合に多額のお金が必要ですが、このため国などからお金を借りあとして返済するものです。
 町債 町が事業をおこなう場合に多額のお金が必要ですが、このため国などからお金を借りあとして返済するものです。

お金はどこからきたか

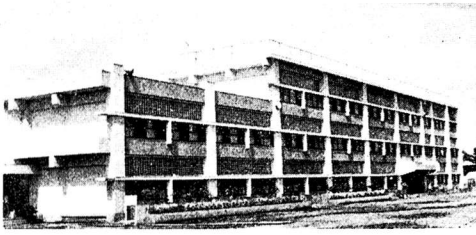
(町独自で得られたお金)
 町税
 みなさんのおさめていただいた税金です。町民税一億、五七四万円、固定資産税八四三、三万円、軽自動車税四、八七万円、電気ガス税二一六八万円、都市計画税、二九九万円が納入されました。

財産収入
 不用物品売払収入や第四小田校舎売払代金など
 繰入金 昭41年度会計から繰越されたもの
 繰入金 昭41年度会計から繰越されたもの

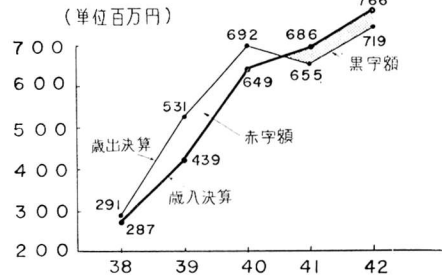
国が町の財政を安定させるために交付するものです。
 国が町の財政を安定させるために交付するものです。
 国が町の財政を安定させるために交付するものです。

してくれるもので、一、二、三、中の屋内体育館、四小防音工事、横田基地周辺排水路やその他の建設事業に対し補助金が交付されました。

完成した第4小防音校舎



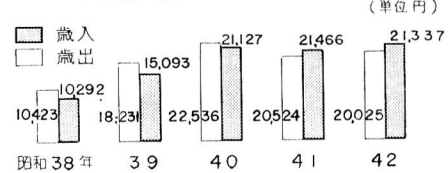
年度別一般会計決算表



特別会計決算状況 (単位万円)

会計別	歳入額	歳出額	差引残額
国民健康保険会計	93,325,265	89,522,811	3,802,457
と畜場会計	32,493,386	24,180,379	8,313,007
公益質屋会計	2,060,019	1,838,833	171,186
都市計画福室土地区画整理事業会計	158,429,772	451,665,312	6,864,456

年度別人口1人当り歳入歳出額



選挙人名簿登録受付中

該当者は12月2日までに申請を

今回の選挙人名簿登録される方はつぎのとおりです。必ず12月2日までに登録の申請をしてください。

該当者

新有権者

今年の9月1日以前から引続き福生町に住み、本年9月31日から12月2日までに満20歳になられる方(昭和23年9月3日から昭和25年12月2日までの出生者)

なお、本年9月2日以前に満20歳になっている方で、引き続き3カ月以上福生町に住んでいて、まだ

登録のしていない方も含みます。

転入者

本年6月2日から本年9月1日までに福生町に転入した方で、まだ

転入をしていない者

なお、本年9月1日以前に転出し、引続き福生町に住み、まだ転入をしていない者も含む

名簿縦覧

12月8日(土)14時

午前8時30分～午後5時

(土曜日、日曜日も行ないます)

応募作品は五五五点

七夕まつり写真コンクール

第18回福生七夕まつり写真コンクールの応募作品は五五五点(白黒四三二点、カラー一二三三点)が寄せられました。が、10月15日、専門の先生方による審査が行われ入選者がさまりました。

白選者の部

推せん

笹本久男(福生町)

特せん

藤田忠祐(立川市)

準特せん

山岡芳雄(保谷市)

準特せん

関谷青二(福生町)

推せん

重元泰治(立川市)

推せん

高田正和(立川市)

推せん

本田忠雄(岡分寺市)

推せん

武田竜馬(阿佐ヶ谷)

推せん

入せん 十点、佳作 十一点

「福生百年小史」

訂正について

明治百年を記念し、福生町文化財調査会が編纂(編集)した「福生百年小史」(30冊)が、一部誤りがありましたので、訂正いたします。なお、一五〇部増刷りしましたので、ご希望の方は教育課にご連絡ください。

5頁10行 煙草製造用は抹消
11頁2行 航空整備学校とし、
11頁2行 中は抹消

11頁5行 警察署は憲兵隊に
12頁年代1944は1945に
その他お気づきの点はお知らせ
ください。

インフルエンザに 気をつけよう

インフルエンザがはやっています。インフルエンザは、患者の鼻やのどで繁殖した菌が咳やくしゃみにより飛び散り、これを吸いこむことにより感染する病気で、普通の風邪と区別することは困難ですが、急に38度から40度の高い熱がでて、頭痛や関節痛などが生じます。素人診断は絶対にやめて、必ずお医者さんの診断を受けましょう。

一 つかからないようにするには一

▷ 咳をしている患者に近よらないこと。咳やくしゃみは、患者の口から、3メートルも飛ぶといわれています。

▷ 過労や不眠をさけ、栄養を十分にとること。体の抵抗力が弱ったときに最もかかりやすい。



▷ 予防注射を受けましょう。注射をしてからききめがでてくるまでには二週間ぐらいかかります。町でも予防注射をおこなっておりますので、必ずうけましょう。

暮しの シオリ

衣

秋から初冬への変わり目は、からだはまだ寒さになれ切れないためか、あるいは衣服がそれにふさわしくないので、まよいに寒さを感じます。気温に反応した着かたを工夫して、かぜなどをひかないよう注意していきましょう。洋服類もそろそろ冬着にかわりまして、昨年よく手入れをしてあれば、ことしもさつぱり着られます。しまいぐせのついた洋服は、みっともないものです。必ずプレスしてから着ましょう。家庭でプレスするため「ウマ」を一つ買って、おくと便利です。しかし、最近では、どこでも待っている間にプレスしてくれるところがふえてきました。

食

魚類は豊富です。近海ものアジ、サバがおいしいし、タラ、ヒラメなども多くあります。ヒラメは生のままの方が消化もよいので、病人がいる家庭では、おサシミにしてあげましょう。野菜も、ホーレン草、カリフラワ、シュンギク、白菜がたくさん出てきます。ホーレン草は栄養価の高い野菜で、ビタミンA、B、Cやミネラルも含んでいて、とく

に貧血症には欠かせません。サツとゆでる(ゆですぎない)ことが大切です。

カリフラワをグラタンにすると、若い人に喜ばれます。シュンギクも、ホーレン草についてビタミン類の豊富な野菜です。焼きほきにはよくあいます。

くだものでは、みかん、りんごの最盛期です。いずれもわたしたちの栄養に欠かせません。できるだけたくさん食べましょう。

住

朝夕めくまり寒くなり、日当たりのいい部屋、家族の団らん場ですが、日本家は、ともしずきま風を吹きぬけます。すき間風をふせぐ工夫をこらして、ください。

日のあたらない室であつたら、暖房の工夫をし、冬を楽しく過ごす研究をしてみましょう。

ふすまや障子の張りかえは、なるべく早くすませましょう。

石油ストーブは使う前に十分点検し、油もれや、いたんだところを完全になおしてから使用しましょう。

寒くなるとお風呂は暖められ、つかれはとれると湯しみの一つで、へたに入ると熱さめして風邪をひいたり、あまり長湯をして、かえって身体を疲れさせたりします。浴室は、ふたをとり湯気でよく暖めてから入りましょう。また、ビニールですき間風を防ぎ

利用者は

37,530人

58日間の町民プール利用状況

7月15日から9月10日まで58日間一様に開場した町民プールの利用状況はつぎのとおりでした。

大人 16,307人
小人 22,223人
計 37,530人

開場期間中の天候は日曜16日にすぎず、雨の日もあり、秋が早く訪れたために予想を下回る利用状況でしたが、8月4日には、1,543名がおしかりかけています。

利用者が37,530人は福生町の人口に当り、町民みごとになり、来年の夏も大いにご利用下さい。



▽ ポリバケツには必ず役場発行の点を必ずお守りください。

▽ ポリバケツにあふれるほど、ゴミを入れないでください。いつもきちんとしてふたをしてください。

▽ ポリバケツには必ず役場発行の点を必ずお守りください。ひどいものは収集しません。その他つぎの点をお守りください。

▽ 紙袋などでは、絶対に出品しないでください。

▽ 毎週木曜日は、危険物を収集し、毎週木曜日は、危険物(燃えにくいもの、灰、空びん、空かん、ガラス等)の収集日です。

▽ 木曜日は危険物以外のものは、収集しません。

台所のゴミはよく水をきって！ ひどいものは収集しません

最近水をよくさらずに台所のゴミを出す家庭が多くなり大変困っています。

集めたゴミは焼却施設で焼くわけですが、水を多くふくんでいるゴミでは、収集や処理能力が落ちてしまいます。台所には、水を取り「コーナール」を使用して、よく水を切ってから出して下さい。ひどいものは収集しません。

▽ ポリバケツは、朝出して、収集がすんだらすぐかたづけしてください。

▽ 紙袋などでは、絶対に出品しないでください。

▽ 毎週木曜日は、危険物を収集し、毎週木曜日は、危険物(燃えにくいもの、灰、空びん、空かん、ガラス等)の収集日です。

▽ 木曜日は危険物以外のものは、収集しません。

交通災害共済

四十一%が加入

「交通災害共済制度」が十月一日から発足しましたが、町会長さんをはじめ、みなさんのご協力のおかげで、お申し込みの人数が、町長のとおりに大勢いたるに加入していただき、まだ、約五十分の割合しか加入していませんので、万一事故に合ったときのために、なるべくお早めに加入していただくようお願いいたします。

交通災害共済加入状況

43.10.15現在

福生町人口	36,444人
加入者数	10,525人
加入率	40.7%
小学生以下	4,342人
合計	14,867人

加入申込は住民課窓口で受付けております。かけ金は今年度限り来年三月まで大人、五円、小人(中学生以下)です。

狭山火葬場組合が

電話を新設

このたびは狭山火葬場組合では、つぎのとおり電話を新設しました。

午前8時30分～午後5時
午後6時～翌朝午前8時
休日(夜引)
91-8577

盛大だった青年の集い

10月19日、20日の2日間にわたり、「第2回青年の集い」が第一中学校と自治会館で250名の若者が集り盛大におこなわれました。これは、福生で育った青年も新しく福生町へ来た人も、みんなで手をとって、青年の輪をひろげていこうと行なわれたものです。19日はキャンプファイヤーをたきながら歌とおどりで過ごし、20日は、講演と討論会など心から楽しんでいました。

参加者の一人は、「このように青年が集ることは本当にすばらしい。来年も是非集りたい」と感動していました。



小学生とダンブの運転手の集い

10月10日、午後1時から福生、羽村、瑞穂の小学生代表98人とダンブの運転手16人による話し合いが福生警察署交通係主催で福生町役場で行なわれました。



それぞれの立場でいろいろな問題について話し合いました。ことごとちは、手をあげたら必ず止ってください。これから冬になると砂利の水が道にこぼれて凍って危険ですから水のよくきった砂利をつんでください。また砂利が道にこぼれないようあまりつまないでください。など鋭い意見をのべました。また運転手のみなさんも「急ハンドルや旗をあげても車は止まらず事故のもとになりますので、十分注意してください。わたくしたちもいづれ事故がおきないよう十分注意して運転します」と述べていました。



この人に聞く

福生の百年 (その4)

⑬

森田栄太郎氏

明治6年生 95歳



今月は、福生町の最高齢者森田栄太郎氏を訪ねました。氏は九十歳とまだ思えないほど記憶力もよく懐しうに昔を語ってくれました。いろいろと貴重なお話を聞いていただきましたが、紙面の関係で、明治時代の農業を中心としたものをまとめてみました。

こどもの頃は……

小学校は、はじめ福生院で勉強し、あとは熊川神社の境内の校舎で学びました。なにしろ、当時は電気などなく、夜は魚の油を皿にさし、あんどんで勉強しました。小学校を卒業してから、いまままで、ずっと農業をやってきました。ちょうど八十歳です。

明治時代の熊川村の農業は……

熊川村の人はほとんど農業で、米や麦また桑をたくく作っていました。なにしろ、だっこのも「せんばこぎ」といういねをばさ

んでひっぱる簡単なものでした。安は五銭銅貨、おかぶは、鉄銅貨、土まぼかあいた鉄の棒です。十分な肥料もないため、収穫は少なう、麦は反当り三俵ぐらいで、いまとは比較になりません。田んぼも大水のたびに流れました。またみんな桑をつくりか、こをかっていました。苦労もなく、崖下の下の川に水車が十五合あり、米つきはみんなそこ頼みました。

なぞ桑を多く作ったのですか

明治の日本は、生糸で世界に有名になった頃で、熊川にも森田、山州など三つの製糸工場があり、輸出生糸の生産をおこなっていました。そして、遠くは能登、信州、甲州から三〇〇人の女工さんがきて働いていました。みんなとてもよく働き、なかには病気になった人もおりましたが、結婚して熊川に残っている人がかなりおりました。とにかく生糸はよい収入になったのです。

この生糸産業はその後太平洋戦争のぼじまる前まで長く続きまし

熊川分水は、田んぼの引用水としてきたのですか

いいえ、田んぼの水は、福生の永田からとり入れておりました。

熊川分水をつくるにいわれは、昔玉川土水をつくるとき、このへんの人たちがおてんまといつて働勞奉仕にかりだされたのですが、そ

の代償として、羽村、川崎、福生、拜島、砂川に水をわけてやるというのでできたとい聞ています。水の量は各村によって違っていましたが、福生は羽村がひかないためはじめと一口が五〇坪でしたが七五坪になりました。お話を、先々代の石川弥八郎さんが各村の代表として交渉にあたり、工事は熊川村の人たちがみんなおてんまに出てつくりました。わたしも石がきなどつみました。

分水は、森田製糸場が糸くりに使ったが、石川酒造で水車をまわしましたが、熊川の人たちがみんな使えるよう、各家庭の地所の境界に堀ったため、くねくねと曲っているのです。昔は水がととまされて、ほとんどの家庭が飲料水として使ったのです。いまはずっかり汚れていますが、完成したのは、明治三十三年頃だと思

います。そうしますと、熊川には井戸はあまりなかったのですか

ええ、熊川は高台のためか水に恵まれず、井戸は、南に二つ、内出に一つ、鍋ヶ谷戸に二つ、牛浜に一つあり、みんな共同で使っていたのです。ですから、分水の水は、大切なものだったのです。

田んぼが大水のたびに流されたそうでは……

ええ、洪水のたびに流されました。特に明治四十年の秋の大洪水は最もひどいものでした。

なにしろ、牛浜から熊川まで七〇〇熊川にわたって堤防が流され、いまの熊川の水分は流水と違って、いまいになり、まるでマッチ棒が集ったようでした。当時は土手に大きな桜があったのですが、つきつきに流され、土流からも橋がいつは、流れてきましたか

この復興はどうでしたか

流れついた材木は、田んぼの所有者のものとなり、入札で売られました。材木屋やうす屋が大勢きて買ったものです。

石のかたづけも大変でした。とにかく、当時、日当が25銭でしたが、このあとかたづけの工夫を集めるために日当60銭にもなったのです。そのほか坪めきといつて、請負い仕事があり、一坪かたづけると二円というお金になりました。熊川の人たちは、みんなモッコがつかうこの仕事をしました。

堤防工事はどうでしたか

先々代の石川弥八郎さんは、土木にたいへん明るく、先頭にたつてこの仕事をしました。福生の野村組、羽村の中間組、昭島組の地のかるこ組などが仕事をしました。ところが、熊川の人たちも含め全部で二〇〇名ぐらいておこないました。土手の半分は、田んぼを作るという理由で、十間づつ熊川の部落ごとに受持ちしたのです。

流されたことに明治40年ですが、工事は明治41年からほじまり、完成は明治43年でした。

この間に大雨も降りましたが、全部堤防が完成しなくて、決して水が浸入しないように工事をしました。みんなモッコをかつぎ、朝早くから暗くなるまで、働いたものです。石川弥八郎さんが望遠鏡を持って、高い所から工事を監視して、高い所をよくおぼえていました。この堤防がしっかりして、その後、長い間、熊川の田んぼも洪水に流されることはなくなりました。

とにかく、先々代の石川さんは役人がきびくつきりするような仕事をやる人でしたが、道もよくするし、立派な人でした。

森田さんはいまでも畑に出られるそうですが……

ええ、でも、もう百姓をやるのがだんだんむづかしくなってきました。家ごとんどんできて知はなくなるし、田んぼも学校かてできるそうです。長い間みてきた田んぼや畑がなくなっていくのはさびしいですが、こうゆう時代になったのですから、しかたがないですね。

九十五年間、変わり行く福生町と共に生きてこられた森田さんの身体には、町の歴史がしみこんでいるようでした。

最後に長生きの秘訣は、「必要以外の心配をしないこと」、暴飲暴食をしないこと。わたしはまだまだこれからです」と元気に語っていました。



昭和43年当時の第5小学校付近

15才~20才 青少年人口 43.1.1現在

年齢	総数	男	女
15	529	291	238
16	555	256	269
17	605	310	295
18	669	348	321
19	720	378	342



1968. 11. 20

号 外

発行所 福生町役場
 発行兼編集人 企画調査室
 電話 51-1511 内線204

補導件数分類

(1) 月別件数

区分	月										計	合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
福生町	0	0	0	0	0	3	4	1	6	1	15	23
その他	0	2	0	0	0	7	9	7	18	12	55	87

(2) 年令男女別

区分	年令							計
	14才	15才	16才	17才	18才	19才	20才	
男	0	4	29	19	27	4	0	83
女	0	0	2	0	2	0	0	4

(3) 職業別

区分	職業						計
	中学生	高校生	有職	無職	その他		
男	1	26	33	23	0		83
女	0	0	2	2	0		4

(4) 場所別

区分	場所							合計
	路上	公園	遊園地	駅周辺	スケート場	その他		
件数	42	3	11	5	3	23	87	

なくそう 恐ろしいシンナー乱用

若い生命をむしばむ 危険なあそび

恐ろしい、ということが何となくわかっているのですが、まだ心のどこかには、ひとごとというよ様な安易感が残っている。そんなちよつとしたすさまじく、拡がっているのが恐ろしい「シンナー」遊びです。

「朝、目がさめると何人かの尊い生命が失われている。交通事故防止によく聞く言葉ですが、今や、この言葉はシンナー遊びに対するものに代りつてあります。

しかも、それは、現代におけるもっとも歪んだ形の社会問題としてわたくしたちの目の前に立ちまわっており、若い前途ある青少年の生命をつぎひたしとむしばんているのです。

お父さんお母さん、この恐ろしいシンナー遊びを十分に知ってください。

やがて

脳波の異常は回復しなくなる 周囲の協力で防止を

先日、福生町青少年問題協議会が役場で開かれました。協議は青少年非行化の問題をシンナー遊びを中心として取り上げ、シンナーの内容、福生町の現状、その対策等を熱心に討議したのですが、「シンナー遊びひいて

は青少年の非行化を防止するには、家庭、特に保護者への呼びかけ、保護者の理解、家庭内での注意がまず第一だ」との考え方が強いように思いました。

恐ろしい「シンナー遊び」からあなたの大事なお子様を守るため

にまずあなたの家庭で、そして、ご近所の人、すべての人が、この遊びの恐ろしさを十分知ってください。

ふつう、シンナー遊びとか接着剤遊びはシンナーを始め、ボンド、ブラボンド、セメダイン等の接着剤を吸って、そこから起る「めいて状態」を薬しむというのですが、これが、実は薬しむどころか、破壊の第一歩なので

シンナー遊びにしろ接着剤遊びにしろ、これら有機溶剤の気化ガスを吸い込むわけですが、その中毒症状はほとんど同じです。

吸い込んだ当初は、頭痛、ほきき、食欲不振等が起り、さらに続けますと中枢神経がおかされて、強度のめいて状態におちいります。

この時、あまり大量に吸い込みますと呼吸中枢に急激な麻痺症状をおこし死亡してしまうことがあります。現在、しばしば起っている死亡事故のほとんどがこの事故死なので

家庭での認識と 正しい指導を

最近あらちちで、この問題がとり上げられるようになり、その対策もいろいろとたてられていますが、なにせ品物は簡単に手に入りますので、それからは、なかなか思うような効果があげられないのが現状です。

しかし放っておけば猛烈な勢いで広がるに違いないので、これを吸い止めるのが大人の義務です。

福生町青少年問題協議会では、地区委員会等あらゆる組織をつうじて、その防止とすでにシンナー遊びを止める青少年の立ち直りの対策をたてるよう協議決定しました。防止のためには

さらに、二年たちますと、完全な精神障害になり、テンカン等を起すようになって脳波の異常はもう再び正常に戻らなくなってしまいます。

このように単なる酩酊状態からやがて精神障害者、廃人へのコースをたどるところに、その恐ろしさがあるといえます。

同時に自制心をなくし、さらに善悪の判断力を失い、不安定なままに平然と非行を犯すことになるのです。しかもそれは知らぬうちに廃人へ、そして「死」に引きずり込まれてしまうのです。

また、ボンド、ブラボンド等の接着剤は物を接着するために用いられ工業用とか一般用日曜大工、学校教材等その用途は大へん広範囲にわたっていますが、その主成分の中に接着の樹脂、可塑剤などが有機溶剤が含まれているのです。それは酢酸エチルトルエンなどで、シンナー同様麻酔性が強く呼吸器胃腸肝臓障害をまねき、さらには中枢神経をおかしてしまう。恐ろしい毒性を有しています。

福生町でも23名を補導 多い16才~18才の男子

福生町警察署管内の補導件数を見ても、この数字は他署で補導されたものと、六月あたりから急に出はじめ、その後増加の一途を辿って現在にいたっています。これもまたまだ「水山の一角に過ぎない」とのことです。

この補導例を特徴的にまとめると

みますと男子15才から19才くらいまでの高校生、有職、無職のものが圧倒的に多く午後4時から5時をピークというところになります。この補導例で路上というものは、路をふらふら歩いているのを見つけたと解し、くされるべきで、実際には公園、空地等で行なわれると考えてよいと思います。

最近あらちちで、この問題がとり上げられるようになり、その対策もいろいろとたてられていますが、なにせ品物は簡単に手に入りますので、それからは、なかなか思うような効果があげられないのが現状です。

しかし放っておけば猛烈な勢いで広がるに違いないので、これを吸い止めるのが大人の義務です。

福生町青少年問題協議会では、地区委員会等あらゆる組織をつうじて、その防止とすでにシンナー遊びを止める青少年の立ち直りの対策をたてるよう協議決定しました。防止のためには

▽ 家庭職場ではシンナー遊びの恐ろしさを十分認識し、あらゆる機会に青少年に対し注意を早期発見につとめる。それも小中学生のみでなく、それ以上の青少年に注意する。

▽ 販売者はできる限り、用途不明その他不審な点のある人に対する販売をさしひかえて、売る場合は正しい使い方がされるか納得のいくまでおたずねください。

▽ 「シンナー遊び」をしている青少年を発見したら一刻も早く警察に連絡する。

恐ろしい「シンナー遊び」から青少年を守るには、周囲の人たちのその恐ろしさと青少年がそこへ入っていく遠のいきさつに対する十分な認識、さらにはそれに対する十分な努力が必要なのです。

青少年の創造力は、計り知れない程偉大です。それを正しいものへと向かわせるようみなさんのご理解と協力をくぐれどもお願いいたします。



昭和53年12月の第5小学校付近